

第69回 石川県児童・生徒科学作品コンクール

優 秀 作 品 展

2025

石川県教員総合研修センター会場

令和7年10月25日(土) 12:00～15:30

金沢会場

[金沢市長土塀青少年交流センター]

令和7年11月8日(土)～16日(日)

9:30～17:00(入場は16:30まで)

※ただし、10日(月)は休館日のため除く

小松会場

[サイエンスヒルズこまつ]

令和7年11月26日(水)～28日(金)

9:30～17:00(28日は16:00まで)

河北会場

[津幡町文化会館「シグナス」]

令和7年12月6日(土)～7日(日)

10:00～16:00

展示会に関する最新情報は、石川県教員総合研修センターのWebページに記載しています。

主 催 石川県科学教育振興委員会

共 催 石川県教育委員会 石川県科学教育振興会

後 援 石川県理科教育研究協議会 読売新聞北陸支社

入賞作品一覧表

◆ 石川県知事賞

小学校の部

- ◎ 3年目のさい強ぶんぶんごまのけんきゅう
～形で音がかわるふしぎ～
- 金沢市立泉野小学校 3年 杉本尚央介

中学校の部

- ◎ 石川県に五重塔があった！
妙成寺五重塔はどうして能登半島地震に耐えられたのか？
- 金沢大学人間社会学域
学校教育学類附属中学校 2年 小野 遥紀

◆ 石川県議会議長賞

小学校の部

- ◎ ドローン円ばんのひみつをみつけよう！
- 加賀市立山代小学校 2年 宮下 すず

中学校の部

- ◎ コシアカツバメの巣の再現を目指してPART 2
- 金沢市立高尾台中学校 3年 渡邊 季裕

◆ 石川県教育委員会賞

小学校の部

- ◎ 言葉のふしぎ ～見えない力って本当にあるの？～
- かほく市立高松小学校 4年 圓山 耀也

中学校の部

- ◎ 城郭石垣の地震時安定性に関する実験的研究
～15年かかる石垣復旧 私たちがこれからできること～
- 金沢大学人間社会学域
学校教育学類附属中学校 2年 中島 芽生

◆ 石川県科学教育振興会長賞

小学校の部

- ◎ 砂糖に塩を加えると甘くなるのか？ Part 2
- 金沢市立泉小学校 5年 上村弥太郎

中学校の部

- ビタミンC最強献立を作ろう2年目
うがい薬を用いたビタミンCの実験
- 金沢大学人間社会学域
学校教育学類附属中学校 2年 福永 千紘

◆ 優 秀 賞

小学校の部

まほうのりんごあめ ～おねえちゃんをえがおにしよう～	金沢市立小立野小学校	1年	岡田 和樹
おおのさとよりつよい さいきょうの「けんけんのさと」をつくろう	金沢市立西南部小学校	1年	室木健太郎
目指せ！消しゴムマスター!!	金沢市立米泉小学校	2年	竹治 泰駿
かたつむりびっくり3 ミスジマイマイのつなわたり	加賀市立錦城東小学校	3年	滝野 柑南
アメリカザリガニの色のへん化	七尾市立田鶴浜小学校	3年	圓山 煌大
モンシロチョウは、どのように育つのか ～さなぎの色&冬のこし方～	加賀市立作見小学校	4年 4年	永井 優杏 永井 心緒
ニホンイシガメは夜にどうやって エサを見つけるの？	小松市立第一小学校	4年	森 陽乃香
こんなに面白い!? 砂浜の世界 ～石川県の砂浜 大フィールドワーク～	金沢市立朝霧台小学校	4年	武田 紗夜
だ液パワーで虫歯予防 ～口の中のさんを洗い流せ！だ液とpHの関係～	金沢市立泉野小学校	5年	小谷 美月
しぶ柿があまくなるひみつ ～タンニン変身のわけ～ 3年目	金沢市立明成小学校	5年	荒木 陽
どこまで「はっきり」聞こえる!? なっがーい糸電話 ～2人じゃなくても!?～	金沢市立金石町小学校	5年	水由 悠斗
糸電話の研究2 ～聞こえる音を大きくするには?～	加賀市立作見小学校	6年	板東咲和花
向夏の水生生物図鑑2025 ～標本づくり～	小松市立松東みどり学園	6年	加藤 向夏
氷の溶け方のひみつ	白山市立松任小学校	6年	山崎愛唯花
おいしくしたい！わたしのみそ汁 ～わが家のだしの黄金比率をさぐる～	金沢市立押野小学校	6年	田中 心陽

中学校の部

○ きれいな青空を創るためには	金沢市立兼六中学校	2年	奥野 紫月
○ アサガオ9年目 人工授粉に対する砂糖水の有効性の検証	金沢市立鳴和中学校	3年	寺山 貴大
○ 九谷焼における添加物技術の定量的検証	金沢市立大徳中学校	3年	川崎 晴大
○ 持続性に優れた瞬間冷却剤の開発 ～冷たさ続く 魔法の冷却剤～	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属中学校	3年	山口 翔大
○ 除草剤を使わなくても雑草が生えない田んぼ ～9年間の記録調査と赤く濁る水について～	宝達志水町立宝達中学校	3年	田辺新太郎

※ 小学校の部における◎印の作品は、県代表として第62回全国児童才能開発コンテスト 科学部門に出品する。中学校・高等学校の部における◎印の作品は、日本学生科学賞石川県審査の最優秀作品であり、県代表として第69回日本学生科学賞中央審査に出品する。中学校・高等学校の部における○印の作品は、日本学生科学賞石川県審査の優秀作品である。

◆ 優良賞

小学校の部

あさがおはかせへのみち Part 1 ～はなのいろによってちがうものはな～んだ?～	小松市立稚松小学校	1年	梶井 華乃
ふわふわだいじっけん	白山市立東明小学校	1年	林 里歩
めだかにかぞくが ふえるかな? ～ひとりぼっちのめだかに かぞくがふえるといいな!～	野々市市立富陽小学校	1年	齋藤 美怜
あさがおのせいちょうのひみつ	金沢市立泉小学校	1年	山下 橙佳
かがみにかいたえを水にきれいにうかせたい!!	金沢市立大徳小学校	1年	西崎 花
おいしいゼリーをつくりたい	かほく市立高松小学校	1年	釜井 彩衣
あさがお ねぼすけだいさくせん	七尾市立天神山小学校	1年	中村 亮太
「よだれ」のぼうけん	七尾市立朝日小学校	1年	金山 成都
はしがまがっている! ～どんなときにまがってみえるのか～	珠洲市立若山小学校	1年	石尾 綾梨
たんさんの正体は? ～じぶんごのみのたんさん水をつくろう～	能美市立寺井小学校	2年	西谷 美遥
日本で1つだけの車が走れるすなはまは、何がスペシャルなの? パート2 ～すなはまのしめっているところのひみつ～	金沢市立浅野町小学校	2年	米澤 志織
ぼくの作った弓矢で 矢を遠くまでとばすには!? ～じっけんからわかった弓と矢のかんけい～	金沢市立米丸小学校	2年	横山晃太郎
アゲハチョウのサナギの色はどうやってきまるのか? ～ちゃ色のサナギをつくるほうほう～	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属小学校	2年	金本 宗真
ダンボールから見つけたつよい形	かほく市立高松小学校	2年	平野 結葵
ぼくが はつヒットをうてるようになるには	羽咋市立粟ノ保小学校	2年	小網丈太郎
たね たんてい! 早く芽を出すほうほうは?	能美市立宮竹小学校	3年	小梁 紗季
氷の呼吸・式ノ型 無限透明忍者水 ～最強にきれいな氷を作る～ ☆Part 2 ☆	野々市市立野々市小学校	3年	西川 開登
うく?しずむ?パート3	金沢市立小坂小学校	3年	諸角 美和
やじろべえについて ～人間はやじろべえになれるのか～	金沢市立西南部小学校	3年	大路 陽菜
ぼくのモクモク・フワフワ動物図鑑	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属小学校	3年	川田 柊由汰
音のふしぎ	かほく市立宇ノ気小学校	3年	廣谷 尚博
ツバメ・スズメのかんさつ	穴水町立向洋小学校	3年	坂尻 卓弥
目指せ!SDGsカイロ ～身近なゴミで使いすてカイロを作ろう～	小松市立串小学校	4年	改木美那実
サイダーはどうしておいしくなくなるの? ～ずっとおいしくたもつには?～	能美市立寺井小学校	4年	西谷 優真
標高と気温による樹木の関係を調べよう	白山市立蕪城小学校	4年	田屋 冬芽
ぼくのカマキリ観察日記	野々市市立菅原小学校	4年	浅野 良太
そめもの研究3 ～酸性とアルカリ性でどうかわる?～	金沢市立兼六小学校	4年	山崎 諒
食パンで徹底解明!カビの生え方と防ぎ方大実験	金沢市立戸板小学校	4年	石丸 愛梨
子葉のパワーをさがせ!!えんの下のちからもち	金沢市立戸板小学校	4年	瀬川 瑞葵
よく飛ぶ手作りフリスビー	金沢市立三和小学校	4年	元祐 宥静
ブルーベリー果汁のシミはどうしたらとれるのか? パート4	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属小学校	4年	新木 蓮人
植物の共通点をさがせ 発芽するのに適した環境と3科の植物を比べよう	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属小学校	4年	松下日菜子
水のすいやすさ	能登町立柳田小学校	4年	小谷内智輝

表面張力 No. 1 はどれだ？	加賀市立錦城東小学校	5年	吉田匡太郎
発芽に必要なものって何だろう？ ～授業でのギモンを調べる～	加賀市立動橋小学校	5年	町田 奨悟
からだに良いもので色々な色のしゃぼん玉をつくろう！ ～自分オリジナル～	能美市立辰口中央小学校	5年	山西 杏実
紙でもっとSDGs ～透けたり!! 光ったり??～	野々市市立野々市小学校	5年	寺井まどか
続・サイコロ研究 ～もっと出る目にかたよりが出るサイコロを目指して～	金沢市立大徳小学校	5年	西崎 悠
ボールの回転のひみつにせまる！	かほく市立宇ノ気小学校	5年	倉 ころろ
あさくん お顔見せて！ Part 5 ～花の寿命をのばすには?～	羽咋市立粟ノ保小学校	5年	小網凜太郎
洗たく物がよく乾く条件って何だろう	羽咋市立粟ノ保小学校	5年	酒井 結人
身近な生き物観察 カナヘビ・スズメ・ときどきツバメ	珠洲市立正院小学校	5年	西 こはる
ものかんさつきろく ～ほんとうに3年でなるのかな?～	珠洲市立正院小学校	5年	皆口真結子
～ミッション！ 音を聞いてエサをゲットせよ～	小松市立第一小学校	6年	森 菜乃香
ニホンイシガメの学習能力 part 3			
驚異！脅威？カタバミの生命力の秘密を解く！ ～バイオミメティクスにつながる不思議な仕掛け～	小松市立串小学校	6年	石原 大馳
えっ!? 飲むだけじゃない ～未来を創るエコプラスチック～	野々市市立館野小学校	6年	栗栖 一颯
洗濯ボールは知っている2 ～ねんどと音の関係について～	金沢市立泉野小学校	6年	安藤 灯里
羽咋市邑知瀧のまわりで見つけた生き物	金沢市立長田町小学校	6年	石原 歩実
バッタのだっぴPart 5 ～バッタの体の色はどのように決まる?～	金沢市立小坂小学校	6年	大磯 駿
ネムの木のヒミツを探れ！パートII	金沢市立鞍月小学校	6年	上原百合花
どうしてヨーグルトのフタと葉は水のくっつき方が逆なの？	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属小学校	6年	小野 千紘
オンブバッタの食べる草 すき・きらいトーナメント	内灘町立清湖小学校	6年	田中 葉純
1番明るく光る ペットボトルライトを調べよう!!	宝達志水町立押水小学校	6年	赤池 侑真
やったれ日本一の土 ～工夫でび生物を活動的に～	羽咋市立瑞穂小学校	6年	村田 佳紀
夏だ!! 海だ!! 立山だ!! 立山が見えると雨が降るって本当?	七尾市立中島小学校	6年	垣内 沙月
氷の溶け方	穴水町立向洋小学校	6年	坂尻 有弥
蚊はだれが好き?	能登町立柳田小学校	6年	小谷内優衣
コインを入れる!! ～目指せ、百発百中!～	珠洲市立若山小学校	6年	石尾 直己

中学校の部

液状化現象について ～どんな地質が液状化現象になりやすいの?～	小松市立芦城中学校	1年	山下 理紗
ヨーグルトでプラスチックを作ろう! ～土や水で自然分解できるのか～	小松市立丸内中学校	1年	杉山 世弥
肥料の種類や濃さは植物の生育にどのような影響を与えるのだろうか	能美市立辰口中学校	1年	犬塚るるか
ギフチョウとナミアゲハの観察 ～4年目～	野々市市立布水中学校	1年	片桐 叶瑛
アシナガバチはどんな生活をしているのか ～アシナガバチとの共同生活～	野々市市立布水中学校	1年	松原鼓太郎
『これでいいのか?!私の洗顔』 ～めざせ 洗顔後-5歳肌!!～	金沢市立兼六中学校	1年	扇谷 莉果
土砂災害の研究パート2 ～実験そう置を使って考えよう～	金沢市立北鳴中学校	1年	西谷 優生
眠くなる! 音階の秘密	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属中学校	1年	木場 瑛
プラナリア2 ～光の当たり具合、水温による再生速度の変化～	津幡町立津幡南中学校	1年	田中 麻弥

太陽熱を利用して実験しよう!! 太陽温水器・バケツのソーラークッカー編	内灘町立内灘中学校	1年	坂下 遥樹
アゲハの研究 2025年	内灘町立内灘中学校	1年	和田 悠聖
乾物の吸水について	かほく市立河北台中学校	1年	寺嶋 平
くぎのさび方	かほく市立宇ノ気中学校	1年	井高 伶音
バナナが暴く!日焼け対策の真実 ~日焼け対策には何が効果的?~	七尾市立中島中学校	1年	宮森 優衣
自然エネルギーについて	穴水町立穴水中学校	1年	前田 光咲
円盤投げを科学する	珠洲市立緑丘中学校	1年	小町 一颯
ザリガニ博士になろうPart6 ~ザリガニの視覚・触角について~	小松市立中海中学校	2年	面 雄二郎
河川水の硬度の研究 ~手取川水系で硬水の源流を探せ!~	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属中学校	2年	宗 千桜
耐震性バツゲン! 最強の家はどれ?	かほく市立高松中学校	2年	花野 令奈
カゼインプラスチックの育苗ポットを使った小松菜の栽培	志賀町立富来中学校	2年	竹澤 陽彩
オリジナルグミを作ろう ~グミの弾力の変化について~	輪島市立東陽中学校	2年	細谷 瑞羽
落下物の面積あたりの空気抵抗の調査	珠洲市立緑丘中学校	2年	油谷 友希
コメをよりおいしく保つ保存方法の検討	金沢市立兼六中学校	3年	竹本 葵
SDGsを考えたストローを作るには part 2 ~環境に優しく飲みやすい 生分解性 米ストロー~	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属中学校	3年	石田 望渚

高等学校の部

イシクラゲの代謝活動における時間帯による変化の観察	星稜高等学校	1年	高橋龍太郎
海底火山の再現実験を用いてアントシアンの色を変化させる	星稜中学校・高等学校 高1 根未 楓花 高2 土原 匠眞 高1 岡山 笑鈴 高1 林 明結子 中3 山崎 奏夢 中2 岡田 優香		
簡易的なDNA抽出における種間差の検証	星稜中学校・高等学校 高1 嶋倉 悠多 高2 岡本 恵杜 高1 中田 浩理 中3 八野田宗馬 中2 橋本 佳依 中1 高橋琳太郎		
水圧と大気圧によって生じる不思議な現象の検証	星稜中学校・高等学校 高1 高橋龍太郎 高2 平村 晴佳 高2 米岡 伴剛 中3 内田 讃		
吸水による紙の変形と紙の種類について	星稜中学校・高等学校 高1 中橋香々莉 高2 福田 涼我 中3 山内 三冬 中2 林 結佳子 中1 吉田沙莉花		
おうち de ビオトープ ~守れ!水辺の環境~	石川県立野々市明倫高等学校	2年	畑中 良樹
インクの磁性を利用する方法	星稜中学校・高等学校 高2 中川 真志 高1 町田 祈俐 高1 リンアイゼン ルカ なつ綺 中3 折戸 響 中2 大沼 美旺		
重曹を用いた気体発生の反応を激しくする方法 ~ゾウの歯磨き粉実験~	星稜中学校・高等学校 高2 吉田 旭輝 中3 小松崎結衣 中2 竹中 茜音 中1 中道 惺士 中1 西野 彰人		
CanSatに搭載するパラシュート落下時の乱流抑制	石川県立金沢泉丘高等学校 3年 太田 春愛 大井山 聡 重谷 昂伯 白江 清斗 中江 里緒		
金沢春菊と源助大根における組織培養法確立のための基礎研究	石川県立金沢泉丘高等学校 3年 河合 莉瑚 桑原椋太郎 高田 涼真 屈 日恵 渡辺 和奈		

□ 入賞作品数

	小学校	中学校	高等学校	計
石川県知事賞	1	1		2
石川県議会議長賞	1	1		2
石川県教育委員会賞	1	1		2
石川県科学教育振興会長賞	1	1		2
優秀賞	15	5		20
優良賞	58	24	10	92
計	77	33	10	120

県審査の講評

1 小学校

低学年では、日常生活や遊びの中で興味を持ったこと、挑戦したいと思ったことをテーマとして、何度も観察・実験を行い、たくさんのデータを取りながら根気強く取り組んでいる作品が多く見られた。未知のことに、家族とともに探究しながら楽しんで研究に取り組む姿勢が感じられた。

1年生「まほうのりんごあめ ～おねえちゃんをえがおにしよう～」は、姉の大好きなりんごあめをおいしく作って、姉を笑顔にしたいという思いから始めた研究である。おいしいあめを作りたいと考え、砂糖の種類に着目し、複数の砂糖で実験を行った。作成したりんごあめは、身近な人に試食してもらい意見を聞いて、自分なりの結論を導き出している。姉を喜ばせたい一心で研究を行った、優しさにあふれる作品である。

2年生「ドローン円ばんのひみつをみつけよう！」は、ドローンが山や建物を撮影したり、ものを運んだりしている様子から、ドローンがどのように飛ぶのかということに興味を持ち、研究を行っている。昨年の研究を生かして、紙で作った円盤型の「ドローン円盤」がよく飛ぶための条件を多角的に探究している。様々な条件のもとで実験を行い、それぞれの実験において多くのデータを取り、再現性や客観性を確保しようとしている。自らが行った過去の研究と結びつけながら、研究内容を発展させている作品である。

中学年では、日常生活の中で生まれた疑問や自分の興味・関心の高いテーマをもとに、継続している研究が多く見られた。自分なりの仮説を立てて、予備実験を行い、材料の吟味や実験方法の工夫をしている。特に、観察を伴う研究において、長期に渡って丁寧に取り組んでいる様子は非常に好感が持てる。

3年生「3年目のさい強ぶんぶんごまのけんきゅう～形で音が変わるふしぎ～」は、1年生からの継続研究である。ぶんぶんごまの形と音の違いに着目し、予想を立てて実験を行っている。多くの実験を繰り返し、

結果を写真やグラフを用いてわかりやすくまとめている。特に、音の高さを調べる際に、アプリを用いて比較しながら分析している、説得力のある作品である。

4年生「言葉のふしぎ ～見えない力って本当にあるの？～」は、目には見えない言葉の持つ力に着目し、植物や動物、食べ物にフワフワ言葉とチクチク言葉をかけるとどんな違いが出るか観察・実験を行い、実験を進める中で出てきた疑問についてもさらに追究している。研究の目的が明確で一貫性があり、丁寧に手間と時間をかけて追究を積み重ねた作品である。

高学年では、身近な自然の事物・現象から興味を抱いて取り組んでいる数年間の継続研究が多く見られた。実験方法について、条件制御を意識するとともに、多くのデータを取ることで客観性を高めるなどの工夫が見られた。また、結果を処理する際に、見やすくするためデジタル化する作品が増えてきた。

5年生「砂糖に塩を加えると甘くなるのか？ Part 2」は、昨年からの継続研究である。スイカにける塩の量と糖度の関係に着目し、丁寧に予備実験を行い、屈折式糖度計を用いて研究を行っている。実験で生じた疑問点から次の実験に発展させ、多くの人に官能検査に協力してもらうなど、目的に迫るために粘り強く取り組んでいる作品である。

6年生「糸電話の研究2 ～聞こえる音を大きくするには？～」は、昨年からの継続研究である。大きな音を伝える糸電話をつくるために、糸の種類や太さ、糸の束ねる数やねじり方、張り具合、紙コップの大きさや素材、音の高さといった要素に着目し、1つ1つ丁寧に実験を行っている。音の大きさについて、騒音計やスマートフォン、クロムブックといったICT機器を活用して客観的なデータを取得し、研究を行っている。実験の結果を生かして、180mの長さの糸電話を作成することができた作品である。

全体として、子どもらしい発想で日常生活の中での「なぜ」を大切に、観察・実験に粘り強く取り組んでいる作品が多く、研究している中で出てきた疑問

や気づきを次の実験に発展させて、研究の目的に迫っていくような展開が見られた。実験で得られたデータを発達の段階に合わせてデジタルも活用しながら、図や表、グラフなどにわかりやすくまとめた作品も多く、相手にわかりやすく伝えようとする姿が素晴らしい。

複数年をかけて研究に取り組む場合には、内容が複雑になっていくことや思いがけない結論に至ることがある。その場合には、目的に立ち返り、研究内容が実証性、再現性、客観性のあるものかどうかを見直したり軌道修正したりすることも必要である。設定した目的や疑問に対する答えを明確に意識しながら研究を進めることで一層研究が深まると思われる。

2 中学校

物理分野では、6作品の審査を行った。日常生活の中で見たり聞いたりしたことから、興味・関心を持ち、実験装置を自作したり、現地調査をしたり、熱意をもって研究を進めていた作品が多く見られた。

「石川県に五重塔があった！妙成寺五重塔はどうして能登半島地震に耐えられたのか？」では、地震でも倒れなかった五重塔に興味を持ち、文献調査から始まり特徴を分析して研究を進めていた。自身で再現度の高い模型を作り、独自の着眼点に基づき様々な条件を変えながら実験を行い、丁寧にまとめていた。

「城郭石垣の地震時安定性に関する実験的研究 ～15年かかる石垣復旧 私たちがこれからできること～」では、継続研究として城郭石垣の調査研究を行った。多様な条件で実験を繰り返し、圧倒的なデータ量を長期間にわたり蓄積している。実験結果に基づく新たな視点の探究が見られ、その継続的な取り組みから強い熱意がうかがえた。

全体として、実験の根拠を示すため、写真を撮影したり、データを分析してグラフ化や関係式化したり、実験の信憑性や確からしさを高める工夫があった。一方で、仮説や考察がほとんど見られないものもあった。実験結果をどのようにまとめ、どのように提示するかを意識して、思いの伝わる作品にするよう取り組んでほしい。

化学分野では、10作品の審査を行った。環境、SDGs、健康など身近なテーマから科学との結びつきをとらえ、疑問から仮説を立てて実験で検証する流れができていくものも多く見られた。

「ビタミンC最強献立を作ろう2年目 うがい薬を用いたビタミンCの実験」では、昨年度の研究で確立した定量方法を用いて食材からビタミンCが失われない処理方法について検証している。昨年度の問題点を改善した上で、様々な条件を設定して実験を行い、データ処理では、複数の要因を考慮して考察していた。探究のサイクルを回し、研究を深め、実験を基に改めて最強献立を作ったことに研究の意義と達成感が感じられた。

多くのデータを取り、グラフ等で見やすく表現しようとする工夫が見られた一方、実験・観察の説明が不

十分で研究内容が伝わりにくい作品もあった。研究の意図をわかりやすく伝えるために論理的に表現する力も身に付けてほしい。

生物分野では、13作品の審査を行った。自身の体験から湧き出た生き物への強い興味・関心を研究の出発点としている作品が多く見られた。地球温暖化など環境の変化に対する生き物への影響を示唆する作品も見られた。

「コシアカツバメの巣の再現を目指してPART2」では、ツバメの巣を自ら作ることを目的として、粘り強く研究を進めている。巣を再現するための最適な土の選定やツバメの唾液に含まれるムチンを代替する工夫を考え、結果として丈夫な人工巣を見事に再現しており、研究への熱意と高い創造性が感じられた。

長期にわたる粘り強い観察や丁寧に実験を進める作品が多く見られた。一方で、観察することが研究の目的になっているような作品が見られた。研究の目的を具体的に設定し、その目的に向かって観察すべきものを絞りこみ、研究に取り組んでほしい。また、自分の問題意識をよりはっきりさせ、その疑問を解明していくための論理的な流れを組み立てることで、研究全体としてのまとまりがよくなる。

地学分野では、4作品の審査を行った。熱意をもってフィールドワークに取り組む作品が多く見られたことが印象的であった。

野外調査を行う研究では、様々な条件でのサンプルを意図的に収集し、比較することで研究にさらなる深みと説得力が増すと考えられる。野外調査を行う場合には、どれだけのサンプルを、どの地点でとるのかを計画段階で検討してほしい。また、今年度は地震に関係した研究が目立っていた。これは能登で発生した災害など、地元で起きたことへの高い関心と関連していると思われる。これからも身近な地域に目を向け、興味を持ったことを研究テーマとして掲げ、研究に取り組んでほしい。

全体として、身近なものに対する体験や疑問から研究している作品が多く、科学に対する興味・関心や、熱意が伝わってきた。また、地道な活動を重ね豊富なデータに基づいて研究を進めているところはよかった。しかし、内容が多岐にわたり、詰め込みすぎてしまっているものもあった。「1番伝えたいことは何か」という視点で、全体を構成することで、よりまとまりのある作品を目指してほしい。

3 高等学校

今年度は10作品の審査を行った。実験の工夫やデータの多さから努力が伝わってきた。一方で、いくつかの作品では考察が十分でなく、集めたデータから「何がわかったのか」という研究の結論が伝わりにくいものがあった。研究の目的をより明確にし、その目的を達成するために、オリジナリティあふれる探究をさらに深めてほしい。